



<ラムサール通信>

2025 年 11 月 22 日発行 第 226 号

●第 122 回<ワイズユース>ワークショップおよび忘年会のお知らせ●

本年もみなさまお世話になりました。今年最後の<ワイズユース>ワークショップおよび忘年会を、以下のとおり開催します。<ワイズユース>ワークショップでは、本年度に実施した活動報告、話題提供、参加者からの近況報告を行います。ワークショップ終了後、近くで忘年会を行いますので、皆さまぜひご参加ください。

○第 122 回<ワイズユース>ワークショップのご案内

【日時】 2025 年 12 月 6 日 (土) 14 時 30 分～16 時 30 分
【会場】 地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)
東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 1 階
地下鉄「表参道」駅から徒歩 5 分、JR 渋谷駅から徒歩 10 分
アクセス方法: <http://www.geoc.jp/access/#geoc>

【プログラムと話題提供者】

<第 1 部 活動報告>

I. 経団連自然保護基金事業

「アジア湿地広域連携アクションプログラム: 湿地動物の恵みに関する伝統的知識の発掘と普及啓発」

II. リソナ環境助成事業

「インド国ビタカニカ湿地におけるワニとの共生に向けた環境再生と集落ぐるみの獣害対策」

III. 国土緑化推進機構・緑の募金助成事業

「ミャンマー国ウトゥ村周辺の住民によるマングローブ林再生」

IV. 有明海の干潟と韓国シナン郡の干潟との日韓湿地交流

<第 2 部 話題提供>

V. JiVa ラムサールの活動紹介

<第 3 部 参加者からの近況報告>

【オンライン参加方法】

Zoom ミーティング ID: 840 6718 3591

ミーティングパスワード: 258065

担当: 岩崎 (shimpei.iwasaki@gmail.com)

右 QR からでもご参加いただけます。



○忘年会のご案内

【日時】 2025 年 12 月 6 日 (土) 17 時 00 分～

【会場】 JR 渋谷駅周辺

忘年会に参加を希望される方には、追って集合場所等を連絡します。

以下の URL か QR コードから、申込フォームにアクセスして、お名前等をご記入ください。

<https://forms.gle/UALYb6err6qWa4v3A>



●第 120 回<ワイズユース>ワークショップ 開催報告●

2025 年 9 月 27 日（土）に、学習院大学にて、第 120 回<ワイズユース>ワークショップ（ラムサール条約第 15 回締約国会議（COP15）の報告会）を開催しました。COP15 の概要説明の他、COP 参加者 7 名から現地で得た情報についてそれぞれの立場からお話いただきました。ワークショップ内容は録画していますので、視聴希望される方は事務局までお問い合わせください。

●ネパール・シンポジウム開催の報告●

2025 年 10 月 15 日、トリブバン大学で「湿地動物の恵みに関する伝統的知識」をテーマにしたシンポジウムを開催しました。RCJ から、岩崎慎平さん、海外会員の Alfi Rahman さん、Bishnu Bhandari さん、Durga Prasad Dash さん、Indika Rohan Palihakkara さん、Tapan Ghosal さんが参加しました。

本シンポジウムは、経団連自然保護基金の助成を受け、ラムサールセンター、ネパール湿地協会、トリブバン大学中央動物学科の共催で行われました。開催にあわせ、ネパール各地の協力のもと 18 の事例をまとめた冊子『Living with Wetlands: An Ethnobiology of Fauna and Socio-Cultural Values』を制作し、冒頭で出版記念のセレモニーを行いました。

続いて、執筆者や海外の参加者（インド、インドネシア、スリランカ、バングラデシュ）から、カニ・魚・カワウソ・ヘビ・カタツムリ・水牛・水鳥・カエル・ワニなど、多彩な話題提供がありました。その後、意見交換があり、湿地動物に関する伝統的知識の継承・活用の必要性が共有されました。



出版記念セレモニー



Bishnu Bhandari さん発表の様子

●有明海の干潟と韓国シナン郡の干潟との日韓湿地交流の報告●

2025 年 10 月 23 日（金）および 24 日（土）に、有明海の肥前鹿島干潟（佐賀県鹿島市）と東よか干潟（佐賀県佐賀市）において、ラムサール条約湿地登録 10 周年記念イベントが開催されました。RCJ からは、岩崎慎平さん、佐藤湧馬さん、田辺篤志さん、中村玲子さん、朴恵眞さん、そして海外会員の李宇新さん（韓国）が参加しました。

23 日には、肥前鹿島干潟ラムサール条約登録 10 周年記念シンポジウムに出席し、韓国・シナン郡からの祝辞を届けました。また、自然共生サイトの見学も行いました。

24 日には、東よか干潟ラムサール条約湿地登録 10 周年・ひがさす開館 5 周年記念イベントに出席し、李宇新さんから韓国・シナン干潟の紹介が行われ、日本・有明海干潟と韓国・シナン干潟との交流が実施されました。

これらのイベントを通して、市民や鹿島市・佐賀市の関係者とも交流が行われ、有明海の干潟と韓国・シナン郡の干潟とのつながりが一層深まりました。今後も、日韓の湿地交流を引き続き推進していく予定です。



李宇新さんによる韓国シナン干潟の紹介



韓国シナン干潟の展示（ひがさす館内）

●第 121 回<ワイズユース>ワークショップ 開催報告●

2025 年 11 月 6 日（木）に、地球環境パートナーシッププラザにて、第 121 回<ワイズユース>ワークショップを開催しました。今回は、台湾から計 7 名の方をお招きし、日台湿地協力連携に向けた交流会を行いました。台湾側から 4 題、日本側から 2 題の話題提供が行われました。本交流会を 2026 年度は台湾で開催する提案がなされ、継続的に二国間で交流を続ける方向で話が進みました。ワークショップ内容は録画していますので、視聴希望される方は事務局までお問い合わせください。



ワークショップの様子



参加者の集合写真

●湿地動物の恵みに関する在来知識に関する国別会議企画のご案内●

2025 年度採択の KNCF 事業「アジア湿地広域連携アクションプログラム：湿地動物の恵みに関する在来知識の発掘と普及啓発」では、湿地動物の恵みに関する在来知識の事例収集を目的とした国別会議を開催します。本年度は、上記ネパールに続き、バングラデシュ、スリランカ、インドでそれぞれ国別会議の開催を予定しています。関心のある方は、事務局（ramsarcj.nakamura@nifty.com）までご連絡ください。日程および場所の変更可能性有り。

2025 年 12 月 26-27 日：バングラデシュ・ダッカ周辺

2026 年 2 月下旬：スリランカ・ルフナ周辺

2025 年 3 月中旬：インド・オディッサ州周辺